

「はだいろ」って何？

グループ活動 20分

【学習のねらい】

「はだいろ」について考えるなかで、様々な肌の色を持つ様々な国の人たちと共に生きていることを考えることができる。(国際理解、多文化共生)

【準備するもの】

- ・クレヨンまたは色鉛筆のセット (できれば参加者数分)
- ・人の顔が描いてあるもの (塗り絵をするためのもの)
- ・もし用意できれば「はだいろ」クレヨン (様々なはだいろのクレヨン)

【進め方】

- (1) アイスブレイキングをしてグループをつくる。グループ内の進行役を決めてもらう。(5分)
- (2) 様々な肌の色をしている人を思い起こしながら、人の顔が描いてあるワークシートに色を塗る。
- (3) その色を塗った理由と「はだいろ」という言葉についてグループごとに話し合う。
- (4) グループでの話し合いの内容を、全体で発表し合う。
- (5) 最後に、参加者がさらに気づいたことを発表し合い、まとめとする。

【留意点】

- (1) 肌の色は多様であるという意識があれば、異なった肌の色の人を排除することにつながらないのではないかということをおさえる。
- (2) 逆に、固定化された意識が差別・偏見を誘発していることにも気づきたい。
- (3) クレヨンの「はだいろ」という色名を「ペールオレンジ」や「うすだいたい」と改めた例を紹介する。また、様々な肌の色をした人が暮らしていることを学ぶ目的でつくられた「はだいろクレヨン」を紹介する。
- (4) 発展として、目の色は「くろ」というような日本人の固定観念などについてもグループで話題になれば取り上げたい。

